

子どもの

ふれあい





あいさつを

親子のきずなは、あいさつからはじまります。朝起きたら一番に、家族みんなで元気にあいさつをしましょう。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。

心を開いて、すなおにあいさつをすると楽しく、さわやかになり自信が持てるようになります。



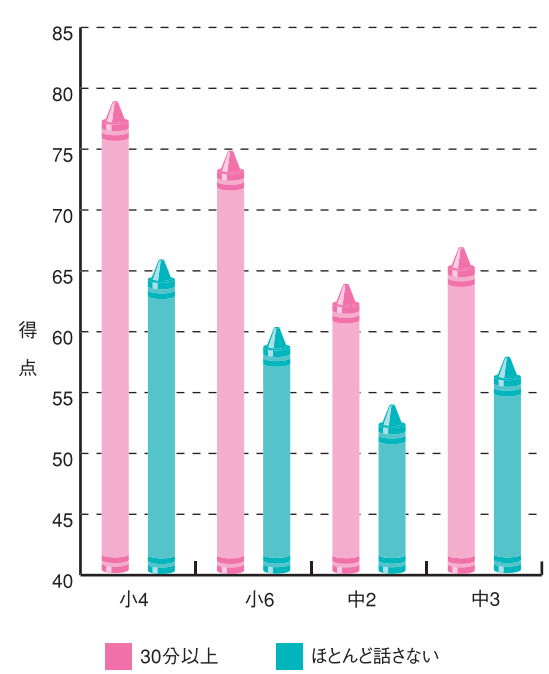
親子で会話を

子どもとの会話を大切にしましょう。なかなか話をする時間がとれない場合でも、食事の時間、お風呂の中で、寝る前になどわずかな時間を見つけて意識的に会話をするよう心がけましょう。そして、子どもといっしょに喜んだり、悲しんだり、子どもの思いを十分に受け止めてあげましょう。



家族との会話と学力

H18 福岡市学力実態調査



家族とほとんど話さない子どもは、得点が低い傾向にあります。



子どもとの ふれあい

いっしょに食事や家事を

家族みんながそろうのはなかなかむずかしいことですが、時間の使い方をくふうして、みんなで食べる機会をつくりましょう。

また、子どもは家族の一員です。親といっしょに家事をするのは当然ですし、生きていくうえで必要なことを学ぶ第一歩であり、何よりも家族のきずなを育てます。



いっしょに読書を



福岡市では毎月23日を『福岡市子どもと本の日』としています。この日を中心に各家庭で生活スタイルにあわせて、子どもといっしょに本を読んでみましょう。

本は子どもにいろいろなことを教えてくれます。また、子どもは本から成長していくうえで大切なことを学んだり、考えたりすることもできます。

読み聞かせをしてあげましょう

大人が読書に親しむ環境を作ることで、子どもはいっそう本が好きになります

いっしょに本を読みましょう。





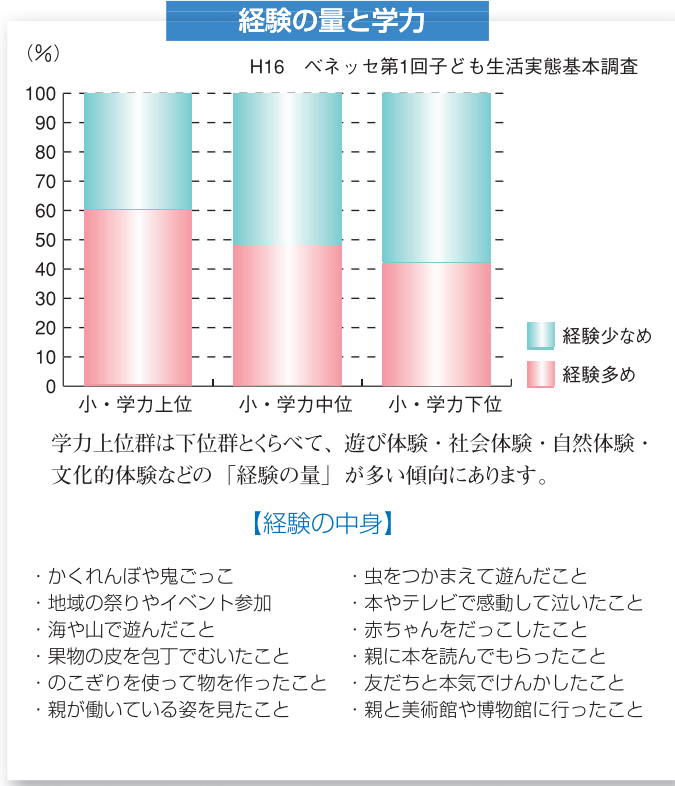
いっしょに外出を

子どもといっしょに外に出ましよう。散歩、スポーツ、町内のそうじ、地域のお祭りなど、子どもとともに汗を流したり、語り合ったり、ふれあったり、社会体験・自然体験等をたくさんすることで、学ぶ力を育てることに繋がります。



子どもどうして遊ぶ

子どもたちは、遊びの中でいろいろなことを学びます。特に、子どもどうして遊ぶことは、子どもの身体の成長はもちろん、心や社会性を育むための大事な体験です。



福岡市と福岡市次世代育成支援推進協議会では、平成19年4月から、毎月1～7日を「い～な」ふくおか・子ども週間”に定めて、個人や企業などがそれぞれの立場でできる取組をしていただき、社会全体で子どもたちをバックアップする意識を盛り上げていきたいと考えています。